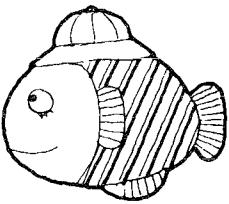


多目的スペース（教室）を新しく設け、二十一世紀を目指し、社会の変化に対応できる心豊かな人間の育成を図るに十分な機能を有した学校づくりを考慮したものです。

各教室等の配置では、一階に、調理、被服、理科、金工木工教室と保健室を配し、二階には、真中に職員、校長室を取り、普通教室四つ、多目的スペース、教育相談室と、管理関係の放送、スタジオ室、会議室（普通教室の予備）、研究教材室を、又三階は普通教室二つ、美術、コンピュータ、音楽、図書、生徒会室を設け、各階には便所と手洗いも配置されています。

建物の内部は、採光、換気等はもとより、色彩の視覚面での効果や、木をふんだんに使い、柔らかな触りや温かみが感じられるよう工夫がされております。また二階、三階の普通教室脇の廊下には円弧状の談話コーナーを設けるなど、生活にマッチした部分のハーフミラーとの一体感で斬新なイメージをかもしだし



もうすぐ夏休み 青少年を行から守ろう



青少年育成月潟村民会議



地域で誇れる学校となりそうです。

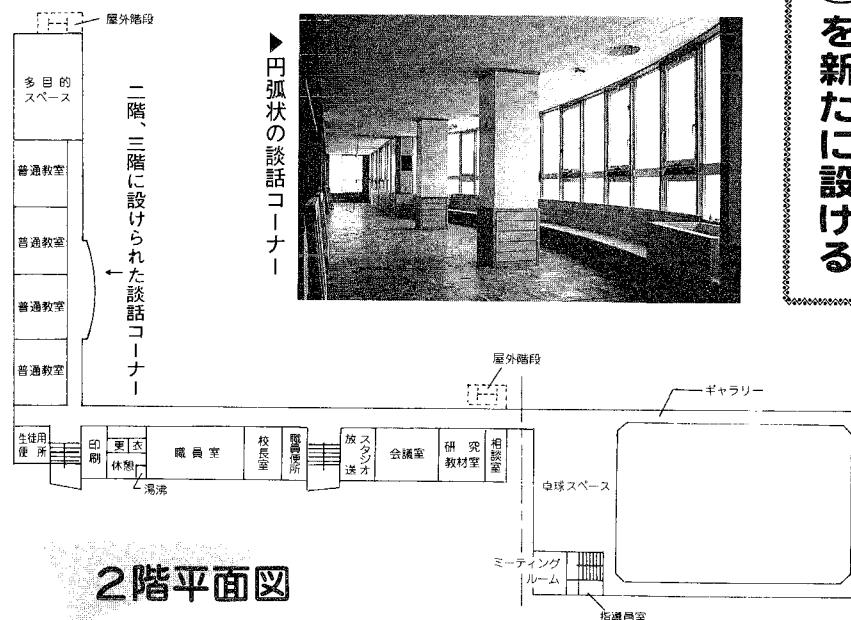
このあと、食堂棟が来年の二月二十日迄、校門移設、植栽などの外構工事が三月二十七日迄と続き、翌年には、グラウンドの整備、屋内体育館の建設が計画されており、平成六年三月には、全てが完了する予定となっています。

尚、現在の学校建物は、校舎棟が本年十一月末で、屋内体育館は平成六年三月末でそれぞれ取り壊しとなり、完全に姿を消すこととなります。

九月からの開校を目指し進めている新月潟中学校の校舎建設が最終段階の時期にきて工事が急ピッチに行われております。

この校舎棟工事は、農村環境改善センターの西側敷地、約二万四千平方㍍を買い受け、昨年七月より国庫負担金（補助金）事業で、工事費九億四千七百六十万円の巨費を投じ継続事業で建設しているものです。

新しい校舎棟は、鉄筋コンクリート三階建て、延べ四千五十八平方㍍で、現校舎に比べ約一・五倍の広さとなっています。これは、それぞれの教室でゆったりとできるスペースをとり快適な施設環境の確保に重点を置いたものと、更に情報活用能力の育成を図るためにコンピュータ教室や多様な学習対応ができるよう



待望の新中学校 完成間近

（コンピュータ室）
多目的スペースを新たに設ける